平成20年度 市政懇談会

市では、多くの市民の皆さんから市政に関するご意見・ご要望をいただくため、6月から7月にかけて市政懇談会を開催しました。この懇談会は、毎年様々な方法で開催していますが、今年は、市民や団体の皆さんを対象とした市政懇談会「市長と語ろう！笠間タウントーキング」に加え、企業を対象とした「パートナーシップ・ミーティング」、そして中学3年生を対象にした「サマー・ミーティング」を開催しました。本紙では、広聴特集として、それぞれの開催内容の一部をご紹介します。詳しくは、笠間市ホームページをご覧ください。

市長と語ろう！笠間タウントーキング

◆笠間市民の日の制定について

Q 「笠間市民の日」の制定について検討してほしい。

A 国には国民の祝日、県には県民の日がありますので、笠間市民の日があってもいいと思います。ただ、行政が決めていくというよりも、市民や団体の皆さんで議論していただいたほうがいいと思います。市民の日を決めるだけでなく、その日を周知して、いろいろな行事を行っていくことは必要だと思います。

◆災害時の緊急避難について

Q 災害の時、行政だけで災害弱者全員を救助するのは無理だと思う。そこで、地域やボランティアがどうかかわったらいいのか、また、災害弱者の救助体制について伺いたい。

A 障害やハンディキャップを持った人たちを把握することは、行政だけでは難しいので、ボランティアの皆さんや社会福祉協議会の協力を得て進めていきたいと思います。また、救助体制として、例えば、障害者福祉施設や老人ホームなどと協定を結んで、災害時に受け入れをしてもらえるような仕組みづくりができないかどうか、検討を始めたところです。

◆個人情報の開示について

Q 昨年の市政懇談会で、災害時の福祉に関する個人情報は開示してもよいという回答だったため、災害弱者を含めた福祉マップ作りに取り掛かったが、実際には開示に至っていない。充実したマップ作りのために、ぜひ、開示をお願いしたい。

A 個人情報については、もっと弾力的に運用してよいという国の通達がありました。特に、災害弱者に関する情報の開示は問題ないので、お問い合わせいただければ開示します。

◆小規模学校の統廃合について

Q 少子化により小規模校は統廃合されるという記事を見たことがあるが、笠間市ではどのようになるのか。

A 子どもの人口動態をみると、どんどん少なくなっているのが現状です。県は学校適正規模を示しましたが、幅広い視野に立って、子どもたちの充実した教育環境のあり方を考慮して、学校の適正配置について検討する必要があると考えます。

◆岩間公民館の活用について

Q 岩間図書館と公民館が岩間支所に移転するということだが、残った公民館はどうなるのか。できれば、地域の活用の場にしてほしい。

A 岩間公民館は耐震性や老朽化等の観点から、使用することが好ましくありません。本来であれば取り壊すことになりますが、教育委員会では、文化財等の保管施設として活用したいと考えています。

《 開 催 状 況 》

タイトル	開催日	開催場所
パートナーシップ・ミーティング（企業対象） ～企業と行政の意見交換会～	6月26日（木）	市役所本所
市政懇談会（市民・団体対象） ～市長と語ろう！笠間タウントーキング～	7月　4日（金）	市役所本所
	7月11日（金）	岩間公民館
	7月18日（金）	笠間支所
	7月27日（日）	市役所本所
サマー・ミーティング（中学3年生対象） ～市長と語ろう未来の笠間～	7月29日（火）	市役所本所

◆イオンの進出について

Q 内原の1・5倍の規模のイオンが茨城中央工業団地に進出すると聞いているが、果たして来るのか。また、地元商業者は不安を抱いていると思うが、市長の考えを伺いたい。

A 現在は県とイオンの交渉段階で、具体的な話は来ていませんが、23年度オープンという目標を掲げています。店内では、なるべく笠間市の物産などを販売できるよう取り組んでいきたいと考えています。また、地元商業者の不安の声も聞いておりますので、具体的になり次第、商工会や商業関係団体の皆さんと常時意見交換をしながら、市として取り組めるものについては進めていきます。

◆市債について

Q 市債について説明願いたい。

A 市の借金は全体で約500億円ありますが、年度計画の中できちんと返済していきます。笠間市の平成18年度実質公債費比率は13・3％と低いほうですが、毎年、事業を展開すればするほど借り入れが増え、公債費比率が上がっていきますので、その度合いを見極めながら事業を行っていく必要があります。

◆福祉バスについて

Q 旧笠間市を走っていた福祉バスが廃止されたが、考え直してほしい。外出を予定している場合は現行のデマンドタクシーでもよいが、毎日定時に走る福祉バスも必要だと思う。

A 2月にデマンドタクシーをスタートさせ、それに合わせて旧笠間市内を運行していた福祉バスを3月に廃止しました。合併に伴い、笠間地区だけでなく友部・岩間地区の住民の足も確保しなければならないということで議論した結果、デマンドであれば自宅の玄関口まで行けるなど非常に利便性が高いという判断から、最終的にデマンド方式にしました。乗り継ぎの問題なども指摘されていますが、デマンドタクシーをより利用しやすいシステムにしていきたいと考えていますので、ご理解をいただきたいと思います。

◆友部駅前商店街の活性化について

Q 新しい駅舎はできたが、駅前の商店街がさみしい。行政だけに頼ったり、責任を求めたりするだけでは限界があるので、市民と商店街、商工会が行政と一体になって、かつての活気を取り戻してほしい。

A 新しい駅舎ができましたが、その効果をどう引き出すかが重要となります。そこで、行政としては、友部駅南口の商店街を含めて周辺をどうしていくかを、市民の皆さんに投げかけていかなければならないと思っています。今年の3月に地元の皆さんを対象とした講演会を行いましたが、今後も案を設けて、勉強会などを行っていきたいと思います。

◆市立病院の存続について

Q 市立病院が閉鎖されるという噂を聞いたが、ぜひ、存続してほしい。

A 誤解されていると思いますが、病院の必要性は認識していますし、行政として廃止するとは一度も言っておりません。ただ、毎年赤字が出ていますし、施設の老朽化も進んでいるため、その経営形態について専門家による検討委員会で審議していただいた結果、指定管理者制度の導入が望ましいとの報告を受けました。今年度中に市の方向性を出そうと考えていますが、病院を廃止してしまうという考えはありません。

◆住民の声の行政への反映について

Q 市政懇談会以外にも住民の声を聞く機会はいろいろあると思うが、住民の声が横断的に行政に反映されているのかどうか、また、どういう機会があるのかお尋ねしたい。

A 住民の声を聞く機会については、この懇談会もそうですし、一つの事業をやるときに、住民の代表の皆さんに集まっていただいて、検討委員会や事業審議会を通じて住民の声を反映させるのも一つです。また、ホームページからの問合せや意見、苦情なども住民の声だと思っています。さらに、事業を立案していく段階で住民の意見を求めるパブリック・コメントなど、いろいろな手段を通じて行っています。

ハッピートーク

～市長と語る子育て交流会～

若い夫婦や出産予定の夫婦を対象に、下記の日程で交流会を開催します。ぜひご参加ください。

◆**10月　5日（日）**：岩間保健センター
◆**10月19日（日）**：笠間保健センター
◆**11月16日（日）**：友部保健センター
※開催時間：10月　5日▷午後2時～4時
10月19日・11月16日▷
午前10時～正午

パートナーシップ・ミーティング（企業対象）

～企業と行政の意見交換会～

6月26日、市政懇談会の新しい取組みとして、企業と行政の情報交換と交流を図るパートナーシップ・ミーティングを開催しました。当日は市内の企業19社が参加し、企業誘致推進室の新設とその取組み、市の企業支援策や今後の交流方針について確認したほか、企業の視点から様々な意見交換を行いました。

◆企業誘致の施策について

Q 市税の還付など、企業誘致に関する市の施策について伺いたい。

A 笠間市では、今年4月に企業誘致推進室を新設し、工業団地等への誘致対策や市内企業に対する支援活動を進めています。市税の還付については、笠間市には「工場誘致条例」と「産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための税免除」の優遇措置がありますが、分かりづらさの見直しも含めて検討していきます。また、市民を雇用した場合の奨励金制度などについても検討していきます。

◆市内企業間の情報提供について

Q 企業の特色を生かした協力体制のための情報提供をお願いしたい。

A 笠間市には、特殊な技術で日本を代表するような企業が操業していますが、それら特徴のある企業の異業種間の情報を共有し、連携することで、一層の事業展開が図られると思います。そのお手伝いとして、企業誘致推進室が窓口となり、「（仮称）がんばる企業応援連絡協議会」を設置して、様々な面でバックアップをしていきたいと思います。

◆大規模店舗の進出について

Q 県の流通センターにイオンが進出すると聞いたが、北川根・旭町は大変な混雑が予想される。周辺整備をどのように考えているのか。

A 現在、県とイオン側で全体事業計画を策定中であると報告を受けています。混雑解消のための道路整備としては、茨城中央工業団地笠間地区の東西南北に4車線の都市計画道路が計画されています。また、周辺の市道を整備し、交通の混雑に対応していきたいと考えています。なお、地元に迷惑のかからないよう、市として県・企業に要望していきます。

◆笠間市100年構想について

Q 笠間市の100年構想について伺いたい。

A 100年先を見越した行政運営は大変難しいですが、百年前には、笠間の石材組合や焼き物組合・窯業指導所の設立、水戸線・常磐線の開通、国家百年の計である教育改革など、産業の育成、交通インフラの整備、教育の充実などを推進しました。百年たっても、これからも必要なものであり、行政として取り組まなければならない問題だと考えています。市を取り巻く環境も非常に厳しいものがありますが、コスト意識を持ってしっかりと効率的な行政運営に取り組んでいきたいと思います。

1周年記念特別キャンペーン中「挙式から披露宴まで！参加型の結婚式を挙げてみませんか」
オンリーワンの結婚式を（パッケージ商品からオリジナルへ）・列席者がメイン料理を選べる
・ご予算で結婚式を・結婚式の翌日からのお付き合い（七五三・誕生日・ご家族のライフスタイルに）
10月のブライダルフェア 要予約＆参加無料 ★開催時間
10月4 日(土) 会場見学＆相談会★10:00～19:00
10月5 日(日) プチ前撮り＆チャペル体験フェア★13:00～16：00
10月11日(土) 本番前の会場見学フェア★10:00～12：00
10月12日(日)和婚＆美食フェア★10:00～19:00
10月13日(月)本番前の会場見学フェア★10:00～12：00
10月14日(火) 平日体験フェア
～16日(木) ★10:00～19:00
10月18日(土)ナイトW
★模擬教会式18:00★ディナー18:30～
まちの駅かさま・市民交流広場開設！
営業時間10:30～16:00平日のみ
お気軽にお立ち寄り下さい。
ニューコンセプトの結婚式場 パークスガーデンプレイス 〒309-1717 茨城県笠間市旭町305 TEL0296-78-1122 http://www.pax-garden.jp

サマー・ミーティング（中学3年生対象）

～市長と語ろう未来の笠間～

7月29日、市政懇談会の新しい試みとして、中学3年生との懇談会「サマー・ミーティング」を開催しました。市内七校の中学3年生全員に笠間の未来に関する作文を書いてもらい、各校の代表4人、計28人が市役所に集まりました。身近な問題から笠間市の未来に関することまで、様々な意見を提言してくれました。

◆テーマ【安心・安全】について

○陶炎祭は車で混雑するので危ない。
○陶炎祭に無料シャトルバスを運行して、駐車場を最小限にとどめることはできないか。
○街灯をもっと増やしてほしい。
○信号機のない交差点は危ない。
○道路のカーブミラーの死角も危ないので、もっと増やしてほしい。
○太い道路と細い道路の交差点の信号機の時間差を同じにしてほしい。

◆テーマ【環境】について

○道路に植えてある花が枯れてしまっても、そのままになっている。
○稲荷神社の裏は暗い感じがするので、自然を壊さない程度に改善を。
○道路などをつくるときに木が切り倒されて緑が少なくなるのが問題。
○不法投棄が多いので対応を。
○学校周辺の美化活動をしているが、たばこの吸い殻が目立つ。
○下水道の整備をお願いしたい。
○ごみの分別をもっと厳しく。
○ホタルがあまりいないのが寂しい。
○道路里親制度を広めてほしい。
○車を使わない日の設定や、屋内の電気の消灯を実践してほしい。

◆テーマ【観光・産業】について

○岩間をもっと発展させてほしい。
○笠間焼などをもっと広めてほしい。
○石材産業をもっと生かしてほしい。
○市長自身がもっと笠間のPRを。
○イベントを今後も拡大してほしい。
○笠間市ホームページにある映画撮影記事を広報紙にも載せてほしい。
○クラインガルテンは予約が多い。ロッジ数をもっと増やしてみては。
○笠間まるごとガイドブックを見て、今まで知らなかった所が分かった。

◆テーマ【生活】について

○駅前通り商店街に活気がない。
○12時と5時のチャイムの種類を増やしてほしい。
○笠間市のマスコットやキャラクターで笠間の魅力をPRしてみては。
○お店や公共施設をバリアフリーに。
○私の住んでいる地域にはコンビニやお店がないので増やしてほしい。
○動物指導センターでは、殺傷処分以外の方法はないのか。
○まちにユニバーサルデザインを。
○英語の授業を小学生からやれば、英語が苦手な人も減ると思う。
○殺人事件などを起こさないために、身近な地域でのふれあいが大切。
○医療機関の段差の解消を。
○稲田駅は夜になると無人駅になるので、盗難や浮浪者の問題がある。
○校外学習の予算を上げてほしい。